

ようじえんだより 2020年度5月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

5月主題『みつける』

主題聖句：あなたは私のもの。私はあなたの名を呼ぶ イザヤ書43章1節

- ☆ 0歳児：神さまのお守りの中、園生活に慣れる。まわりの様子に気づいていく。気持ちを受け入れられ、安心感を覚える。
- ☆ 1～2歳児：さんびかに親しみ、心地よさを感じる。屋外の光や風の中、春の花や虫などを見つける。自分の思いを表す。
- ☆ 3歳児：神さまが創られた世界に目をとめる。春の自然、おもしろいこと、楽しいことに気づき関わろうとする。自分の気づいたこと、思いがまわりの人に受け入れられる。
- ☆ 4～5歳児：神さまの創られたもののすばらしさや、おもしろさや、深さに気づく。戸外での遊びが増え、草花や虫に触れながら、命について考える。困ったことや失敗があっても、保育者の見守りの中で自分で気づいたり、考えたり、やり直したりする。

持久戦になりつつある現状…

今、多くの人たちの関心事は「この状況がいつまで続くのか」ということではないでしょうか。疫学者の間でも「まだわからないことが多い」ということですが、約100年前に流行った「スペイン風邪(インフルエンザ)」の時は終息まで約3年かかっています。今よりも社会がグローバル化されていない時代ですから、流行も終息も遅かったのかもしれませんが、そう思うとそれよりは早く収束すると思いたいですが、それでも年単位で考えなければならぬのかもしれませんが。

非常時は分断や対立に陥りやすい

この不安感と似たような感覚をもった時がありました。それは東日本大震災の時でした。未曾有の大地震とその後起こった原発事故によって、当時茨城県に住んでいた私は「この先、この街やこの社会はどうなっていくのだろう」と

いう不安に襲われました。実際、地震被害からの復興は比較的早かったですが、原発事故による住民間の対立は根深いものがあり、給食の食材で地元産を使うか否かで相当な議論となり、その対立は簡単には癒されない“傷”となりました。

非常時は絆に生きる(絆を確認する)チャンス

地域共同体などに包摂されていない(特に都市部の)個人は、強い不安感に襲われ、お金や行政の窓口しか頼るものがないという人も多くいることでしょう。非常時はこのように自分やこの社会がいかに弱く壊れやすいかを実感させられます。しかしそこに絶望するのではなく、自らの弱さを謙虚に認め、勇気をもって「助けて」と言えることが大切です。そして助けを求める人を見捨てないことです。そこから絆が生まれ、困難の時に結ばれた絆は強いものになるはず

年間主題『こころが満たされる』

主題聖句：喜びと平和とであなたがたを満たす
新約聖書 ローマの信徒への手紙15章13節

です。

園長:久保田愛策